

医療・看護・介護・福祉スタッフ募集
南医療生活協同組合



総合病院南生協病院	南医療生協で働いてくださる方を ご紹介ください！ 以下の職種を募集しています
かなめ病院	
診療所	
訪問看護ステーション	
各種介護施設	
よってって横丁	正社員 パート 医師
	正社員 パート 看護師・助産師
	正社員 パート 介護福祉士・介護初任者研修 (旧ヘルパー2級)など



〒459-8001 愛知県名古屋市長区大高町字平子36
お問合せ・お申込・資料請求は下記連絡先までご連絡ください。
人事育成課 TEL:052-625-0630 Email: jinji@minami.or.jp

2万人の南生協よってって横丁
オープンまつり

大内覧会

オープンまつり

4/4日(土)
・4/5(日)
10時～16時

地域のつぶやきを集めてつくる
まざりあいの明るいまちづくり

南生協よって横丁2万人のオープンまつり実行委員会

南医療生活協同組合

〒459-8001 名古屋市緑区大高町平子36

総合病院の健診・ドックだから確かな信頼

CO-OP コープ 健診・ドックセンター

身体のバランスが、いつの間にかくずれ
「気がついたら大変なことに」とならないよう
あなたに必要な健診項目をご案内します。
お気軽にご相談ください!!

健康づくりにつながる
南医療生協の健診メニュー

特定健診 組合員 成人健診 人間ドック

特定健診

メタボリックシンドロームに着目して生活習慣病の発見を目的とした健診です。

組合員 成人健診

「特定健診項目」に加え、「貧血・肺・心臓」の基本的なコースです。

人間ドック

「成人健診項目」に加え、胃カメラ、眼底、眼圧、腹部エコー、肺機能検査を加えた充実のコースです。

人間ドック (2015年度)

南生協病院の人間ドックは「日本人間ドック学会」が認めた、確かでこまやかな健診内容です。標準的な項目のほか、テレビ・雑誌などで注目されている検査項目も含まれています。

得 500円!

南生協病院敷地内レストラン・ショップで使える500円分の食事券がついています。

得 無料!

ワンウィークwish

健康づくりお試しとして、フィットネスクラブ[wish]を無料で1週間体験できます。

コース名	一般自費料金	組合員自費料金
人間ドック	37,000円 (税込み)	29,800円 (税込み)

健康診断 (特定健診・組合員成人健診)

健康診断は健康づくりの基本です。南医療生活協同組合では、すべての病院・診療所で健康診断ができます。年齢やお持ちの健康保険証によって料金負担が変わります。特定健診受診券などをお持ちの方は必ずご持参ください。健診実施日が可能な健康診断は病院・診療所で異なります。予約や料金の詳細などは事前に電話等でご確認ください。

がん検診 (2015年度)

コース名	一般自費料金	組合員自費料金
子宮頸がん	6,500円 (税込み)	4,300円 (税込み)
乳がん (マンモグラフィー + 視触診)	7,800円 (税込み)	4,300円 (税込み)
胃がん (胃カメラ)	10,300円 (税込み)	8,200円 (税込み)
前立腺がん	2,200円 (税込み)	1,600円 (税込み)
大腸がん (便チェック)	1,900円 (税込み)	1,300円 (税込み)

年に1回体のチェック

総合病院のフィットネスだから確かな信頼

CO-OP コープ フィットネスクラブ wish

wishのコンセプトは「なりたいわたしになる」。
ひとりひとりの「こうなりたい」を実現するために、
運動だけでなく、様々な分野のスペシャリストが皆さんをサポートします。
安心して私たちにお任せください!!

wishで健康づくり

南医療生協で健康管理完結!



ウェルネスシステムによる運動の管理

当クラブのマシンは「ウェルネスシステム」で運動記録を管理することができます。各マシンには、本日の運動メニュー、回数などのガイドが表示され、表示にしたがって運動をすすめることができます。運動の記録も保存され、カウンセリングなどに利用することができます。

- 1 初回説明会 (予約制)**
トレーナーがマンツーマンでサポート。体組成のデータ、健康状態、動機に合わせてメニューを作成し、トレーニング方法をご案内します。健康状態によっては、理学療法士が担当する場合も。
※正式なお申込み後に、ご予約お受けいたします。
- 2 トレーニング開始**
作成したメニューを中心にトレーニング開始。
※ウェルネスシステムにより、皆様のトレーニング回数や健康状態は、全スタッフで情報を共有しております。
- 3 カウンセリング**
トレーニングを続けると、身体も心も変わります。あなたに合わせたメニューになるよう、定期的なメニュー変更をご案内。
※トレーニング開始から10日目、およびその後3カ月に1回のペースでお勧めしています。
※ご希望があれば、メニュー変更は随時お受け致します。
- 4 理学療法士・管理栄養士のサポート**
痛みや、病後のトレーニングなどでは、理学療法士が対応。また、運動だけでなく、栄養面のアドバイスも。多方面からの運動づくりをご案内。
※予約の方を優先とさせて頂いております。
- 5 スタジオメニューで多彩なトレーニング**
wishでは、楽しく運動を続けられる多彩なメニューを準備しています。

月会費

- フルタイム会員 時間内いつでも利用可能 **組合員8,000円 (税込み)** 未加入9,000円 (税込み)
- デイトタイム会員 10:00~17:00 **組合員7,200円 (税込み)** 未加入8,200円 (税込み)
- ナイトタイム会員 17:00~22:00 **組合員6,400円 (税込み)** 未加入7,400円 (税込み)
※ナイトタイムの会員の方は日曜・祝日はご利用いただけません。

入会時に必要なもの 入会金無料

- 銀行通帳 (口座番号) ● お届印
- ご本人を確認できるもの (運転免許証、保険証)
- 初回費用3,500円 (ウェルネスキー作成料・栄養指導・体力チェック) + 月会費2カ月分

お問い合わせ

総合病院 南生協病院内

コープ健診・ドックセンター

電話 052-625-0489 ホームページ <http://www.minami.or.jp>

ご予約・お問い合わせ

平日10:00~17:00 (土曜 ~ 12:00)



お問い合わせ

総合病院 南生協病院内

コープフィットネスクラブ wish

電話 052-625-0500

ホームページ <http://www.minami.or.jp>

営業時間

平日10:00~22:00 (22:30閉館)

日祝10:00~17:00 (17:30閉館)

定休日/毎週木曜日



医療・介護・いやし・おいし・文化・交流・すまいの複合施設

南生協よってって横丁 2万人のオープンまつり

目次

目次.....	02
南生協よってって横丁 アクセス.....	03
ごあいさつ.....	04～08
超高齢社会に向け「地域包括ケアシステム」の先取り.....	09
「横丁」のこだわり.....	10～15
「横丁」店舗のこだわり.....	16～17
南生協よってって横丁の各階案内.....	18
南医療生協 事業所のご案内.....	19
ブロック紹介.....	20～31
ごいっしょしませんか 南医療生協.....	32
おすすめします 加入・増出資.....	32
班会っていいな！.....	33
「南生協よってって横丁」ものがたり.....	34～41
「10万人会議」のあらまし.....	42～44
協賛広告....	45～144
広告索引.....	145～152

南生協よってって横丁 アクセス



交通機関

〒459-8001 名古屋市緑区大高町池之内 63

南生協よってって横丁の周辺

J R南大高駅、国道23号線、国道302号線(名古屋環状2号線)
などからお越しになるみなさんの交通案内です

自動車で

- 国道23号線「名古屋南IC」すぐ
- 国道302号線「名古屋南IC」すぐ

J R南大高駅で

- J R東海道本線
- 1時間に4本程度の発着
- 普通列車のみ利用

知多バスで

- 「J R共和駅」まで出て「南大高駅」
- J R武豊線で
- 知多半島のJ R各駅から
- 名鉄常滑線で
- 金山駅でJ Rに乘換え
- 名鉄河和線で
- 金山駅でJ Rに乘換え

名古屋市バスで「路線名」、「バス停」、「最寄りのバス停から「横丁」までの距離」です

- 鳴海11 ○右回り 南大高駅⇒森の里団地⇒大高駅東⇒中汐田⇒名鉄鳴海⇒平部⇒緑区役所⇒森の里団地
⇒南大高駅(下車 歩いてすぐ)
- 左回り 南大高駅⇒森の里団地⇒緑区役所⇒平部⇒名鉄鳴海⇒中汐田⇒大高駅東⇒森の里団地
⇒南大高駅(下車 歩いてすぐ)
- 鳴子13 地下鉄鳴子北⇒鳴子町⇒池上⇒緑市民病院⇒平部⇒緑区役所⇒森の里団地⇒南大高駅(下車 歩いてすぐ)
- 鳴子14 地下鉄鳴子北⇒鳴子町⇒池上⇒滝の水公園⇒緑保健所⇒緑市民病院⇒平部⇒緑区役所
⇒大高緑地西(下車 600m) ⇒大高駅
- 緑巡回 名鉄有松⇒有松町口無池⇒南大高駅東(下車 200m) ⇒大高駅⇒寅新田⇒丸根⇒平部⇒緑市民病院⇒
⇒平手⇒諸ノ木口⇒藤田保健衛生大学病院
- 高速1 栄⇒上前津⇒鶴舞公園前⇒(名古屋高速道路経由) ⇒下切⇒平部⇒森の里団地(下車 400m)

ごあいさつ

南医療生活協同組合 理事長 喜多村 敬



平成27年は、南医療生協にとって、新しい時代の幕開けの年です。医療とはその人が人生を全うするために支援する行為の一つという考えのもとに、10年前の「グループホームなも」の建設から始まり、医療・介護・福祉・くらし・まちづくりの分野で事業と運動を進めてまいりました。今日で言う地域包括ケアの先駆けとも言えるものと思います。

平成24年から始まった南医療生協の近未来構想会議「10万人会議」に参加していただいた多くの地域・組合員の皆様、職員とで南医療生協が地域で何ができるか、何を求められているかを熟議してまいりました。その夢と希望の提案を、名古屋市の南大高駅前の土地活用事業に採用していただき、「南生協よってって横丁」の建設が昨年からはまり、4月にオープンまつりを開催する運びとなりました。

この「横丁」づくりの意義は、医療・介護・福祉・くらし・まちづくりの一環として、赤ちゃんから高齢者までがまざり合うスペースを提供できる、新しい地域づくりのモデルケースだということです。また、24時間365日の在宅医療・介護・リハビリで安心のくらしと、終の棲家の条件を満たす住宅を提供することにより、地域包括ケアシステムの一翼を担います。さらに、各ブロックでの「いちぶいっかい運動（一つのブロックに一つ以上の介護事業をつくる運動）」の弾みになることを期待しています。

今年は、南医療生協の第9次長期計画の年度です。「横丁」だけでは対応できない課題を含め、医療・介護・福祉・くらし・まちづくりに関して、多くの地域・組合員・職員の夢や希望を叶えるような計画づくりを、皆様といっしょに考えていきたいと思います。

各界から心のこもった祝辞をいただきましたので、ご紹介します。
なお、表題は各文中からの抜粋、敬称は略させていただきます。

後進のモデルを担う画期的な 複合施設の誕生

愛知県知事 大村 秀章



このたびの「南生協よってって横丁」のオープンに当たり、一言お祝いを申し上げます。

昨年2月の着工以来、各地から桜の便りが聞かれる今日このごろまでに至り、ついにこの晴れの日を迎えられたことは、貴組合の役職員の皆様、そして何よりも、10万人会議などで、地域医療・地域介護のあり方について議論を積み重ねてこられ、それらの事業の場や、住まいまでもがこの「横丁」一箇所に集約され、これまで他にあまり例のない画期的な複合施設の誕生に至ることができたのも、組合員の皆様のご尽力があればこそと、深く敬意と謝意を表します。

この施設は、組合員の皆様と地域の大切な財産であることはもちろんですが、今後は後進のモデルも担っていただけるものと、大きな期待をしております。

最後に貴組合のご発展と組合員の方々のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

名古屋市有地を活用した 有益なまちづくり事業

名古屋市長 河村 たかし



この度は、「南生協よってって横丁」が竣工を迎えられ、心からお祝い申し上げます。

名古屋市は、JR南大高駅に近接する市有地に、駅前に相応しい施設を誘致するため、平成25年度に土地活用提案募集を実施しました。その結果、審査委員会において高い評価を得られた貴組合の提案が、実現することとなりました。

貴組合の基本理念に基づき、この施設で、地域と共に医療・介護・福祉・住宅のまちづくり事業や運動が推進されることは、名古屋市にとっても有益で、少子高齢化社会を見据えたモデルとなる事業であると考えております。

今後とも、この地域のまちづくりに、より一層のご協力をお願いするとともに、貴組合の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。



在宅医療介護、子育て、交流の場

大府市長 久野 孝保

「南生協よってって横丁」の竣工を心よりお祝い申し上げます。平成22年に南生協病院が緑区に開院されて以来、地域の総合病院として本市からも多くの市民が利用しており、地域医療に多大なるご貢献をいただいております。

本市も「健康都市」を都市目標に掲げ、子どもから高齢者まで誰もが快適で健やかな生活を送ることができ、住み続けたいと実感できる社会、幸福の「幸」に年齢の「齢」と書く「幸齢（こうれい）社会」の実現を目指しています。

貴施設が高齢者福祉施設のみならず、在宅医療介護や子育て支援、また地域住民の交流の場となり、この地域の医療・介護の充実に一層ご尽力を賜りますようお願いいたしますとともに、益々発展することを祈念申し上げ、お祝いのあいさついたします。

大きく広がる 「お互いさま」の協同

豊明市長 石川 英明

南医療生活協同組合におかれましては、「南生協よってって横丁」が完成され、2015年4月にオープンされることに対しまして、心からお祝い申し上げます。

南医療生活協同組合は、「みんなちがってみんないい ひとりひとりのいのち輝くまちづくり」を基本理念に「お互いさま」という、相互扶助にこだわった居場所づくり、ささえあい・たすけあいを事業化した様々なサービスを展開され、地域の方々との「協同」の力の輪を大きく広げられております。

ここに謹んで「南生協よってって横丁」オープンをお祝いし、将来なお一層のご発展をご祈念し、本市の医療・介護・福祉分野にもお力添えいただきますようお願い申し上げます、私のお祝いのことばいたします。



市民参加の地域包括ケアシステム

緑区医師会 会長 柴田 真一

「南生協よってって横丁」のオープン、誠におめでとうございます。少子高齢社会に向け、地域包括ケアシステムづくりは急務です。南医療生協は、2012年より市民参加の通称「10万人会議」で、近未来に対応するまちづくりをされており、今回の「横丁」づくりのコンセプトにも、医療・介護に加え市民参加が盛り込まれていて、南医療生協ならではの地域包括ケアセンターということができます。「横丁」のご活躍を期待し、お祝いのメッセージとさせていただきます。



市民の願いをかたちに

愛知県生活協同組合連合会 会長理事 山本 哲夫

「南生協よってって横丁」のオープンを心よりお祝い申し上げます。高齢化社会を向かえ、医療・介護は市民の大きな不安要素になっています。日々の暮らしを大切に、そこに医療・介護が寄り添う形で支えるという考え方にもとづく「横丁」は組合員・地域住民の願いを形にした施設であると存じます。

同施設の立上げに尽力された南医療生協様ならびに関係の皆様へ心からの敬意を表します。南医療生協と「横丁」のますますのご発展を祈念申し上げます。

主役は組合員と地域の皆さん

生活協同組合コープあいち 理事長 夏目 有人

「南生協よってって横丁」オープンおめでとうございます。南生協病院に続いて大高の街にまた新たなふれあいの拠点の誕生です。医療と介護が連携し、子育て世代から高齢者世代までがつながる素晴らしい施設ですね。

「横丁」づくりの主役は生協組合員と地域の皆さんです。コープあいちも同じ協同組合の仲間として大高での協同の広がりを共にすすめていきます。一緒に頑張りましょう。



南医療生協は「くらしの協同組織」

大学生協東海事業連合 専務理事 村本 哲也

このたびは「南生協よってって横丁」のオープン、誠におめでとうございます。「10万人会議」を通じ、地域に必要なさまざまな事業・施設を、協同の力で、「横丁」として創りあげられたこと敬意を表します。

南生協病院に続くこの「横丁」のオープンにより「協同」「お互いさま」にこだわる「くらしの協同組織」としてますますご発展されることを祈念いたします。

地元法人会にとっても心強い「横丁」

熱田法人会大高支部 支部長 小川 建

この度は「南生協よってって横丁」がオープンされましたこと、心よりお祝い申し上げます。新・南生協病院につぐ「南生協よってって横丁」の完成で、いよいよ盤石の体制が整われましたこと、地元法人会といたしましても、まことに心強いものがございます。

これもひとえに常日頃の皆様方の懸命なご努力の結果と、深く敬服いたします。この上はなお、地域の皆様へますます愛される事業を展開されますよう心よりお祈り申し上げます。





地域に貢献、おしゃれで安心の「横丁」

大高学区区政協力委員会 委員長 須藤 進

平成26年2月「南生協よって横丁」の着工式、そして今年4月には、いよいよオープン。夜間は寂しい駅前も、おしゃれで・安心・安全な街・横丁として地域の人々に開かれました。地域にとりましては誠に有りがたく、厚く御礼を申し上げます。

建設時には、諸々の難題もあったことと存じますが、短期間に大きな事業が計画通りに竣工できましたのは、大勢の皆さんの英知の結晶を賜物と存じます。改めて「南生協よって横丁」のますますの発展を祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

近隣3学区にとってもたいへんな期待

大高北学区区政協力委員会 委員長 竹内 憲二

「南生協よって横丁」竣工・オープン、まことにおめでとうございます。多目的機能を有し、未来志向型少子超高齢社会に対応される「南生協よって横丁」は、ささえあい、たすけあいの理念に基づく施設です。また、24時間365日安心の地域医療・福祉・介護サービスと、多世代が交流し合えるたまり場を通じて、地域協同のまちづくりをされます。

近隣3学区にとりまして、大変ご期待申し上げる次第です。地域のかなめとなられまして、ますますご発展されることを祈念し、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



地域の安心を生み出す南医療生協

大高南学区区政協力委員会 委員長 小池田 忠

地域、そして、そこでくらす人たちの安心を生み出す南医療生協の50数年の歴史、そして、「百人会議」・「千人会議」・「10万人会議」などでの市民参加の連続の取り組みが生んだ、「南生協よって横丁」のオープンに、心よりお喜び申し上げます。医療・介護・福祉・住まい、そして、まざりあいの複合施設です。

南医療生協の「ひとりひとりのいのち輝くまちづくり」の理念が創造した「横丁」は、南医療生協7万5千人の組合員のみならず、私たち地域・市民の宝になることは間違いないと思います。今後の南医療生協の発展に期待いたします。

超高齢社会に向け「地域包括ケアシステム」の先取り まちづくりにこだわる市民の協同が生み出した「南生協よって横丁」



かなめ病院 副院長 神田 茂

団塊の世代が後期高齢者（75歳）となる2025年には、都市部の高齢化が爆発的にすすみます。日本の全大都市の同時高齢化という、人類史上初めての事態に直面するわけですから、準備を怠ることはできません。そこで出てきたのが「地域包括ケアシステム※」という考え方です。

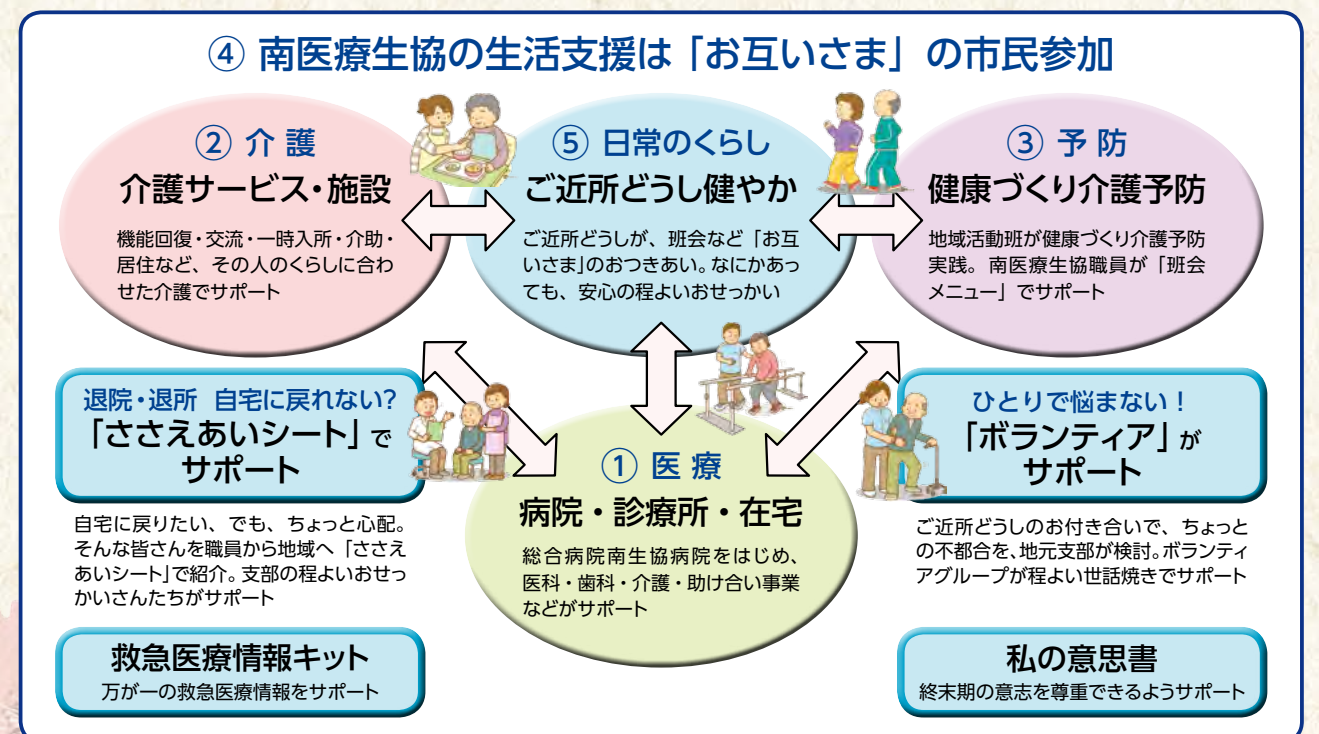
実は、私たち南医療生協は10年以上前から「地域包括ケア」を築き上げてきました（下図参照）。生協ゆうゆう村での高齢者の社会参加、住宅、介護の複合施設の開設を皮切りに、生協のんびり村も立ち上げ、地域包括ケアを先取りしてきました（右表は地域活動・事業所構成）。

「南生協よって横丁」は、これまでの集大成だと言えます。しかし、ゴールではありません。南医療生協には、ひとりぐらしの高齢者の安否確認が機関紙「健康の友」の手配りの際に自然にできたり、年間8000回以上開催する班会やたまり場にお誘いしたり、ちょっとずつ力を出し合って空き家を探し、出資金を募って心落ち着く「グループホームなも」をつくりあげたような、お互いさまのおつきあいがあふれています。この文化を発展させることが、地域を蘇えさせる鍵になります。夢の実現に向けては、いっしょにがんばってくれる職員あつめと仲間ふやしが欠かせません。南医療生協をもっと大きくして地域の協同を広げましょう。

※「地域包括ケアシステム」とは ①医療、②介護、③予防、④生活支援、⑤住居を包括的に整備し、高齢者が安心して暮らし続けられるまちづくりをするしくみ

地域包括ケアを担う南医療生協	
2015.2.4 現在	
組合員数	75,183
支部	85
活動している班	1,078
「機関紙手配り」ルート	3,349
2015.4 現在	
総合病院	1
回復期リハビリ病院	1
内科診療所	7
歯科診療所	3
訪問看護ステーション	5
ヘルパーステーション	7
介護支援	1
デイケア	7
デイサービス	1
指定居宅介護支援事業所	7
小規模老健施設	1
ショートステイ	1
グループホーム	4
小規模多機能ホーム	5
地域交流施設	1
多世代交流施設	2
高齢者住宅	2
健康づくり	2
子育て支援	2
助け合い事業	1
企画・旅行サポート	1
生協関連事業	2
合計	64

7万5千人組合員が出資する南医療生協だから「地域包括ケア」もこんなに違う！



在宅を完全 24 時間体制で対応する診療所

よってって在宅診療所

☎ 052-626-1215
FAX 052-626-1216

「よってって在宅診療所」は、在宅療養支援診療所です。在宅医療を専門的に担い、病院・診療所、訪問看護、介護サービスなどと連携し、在宅療養されるみなさんの支援を行ないます。

◆ 特徴・こだわり・めざすもの

- ① 完全 24 時間体制で夜間や休日でも安心
- ② 南生協病院と同じ電子カルテ使用で情報一元化
- ③ 隣の南生協病院と「顔の見える」安心の医療連携
- ④ 安定的で診療の質を高める複数医師体制による負担軽減で、新たな医師体制・いっそうの在宅展開も可能に
- ⑤ 在宅専門医療の確立で、若手医師研修の充実



写真はイメージです

乳幼児から高齢者まで健やかさを支援する訪問看護

訪問看護ステーションよってって

☎ 052-624-0703
FAX 052-624-0703

「訪問看護ステーションよってって」は、在宅での看護ケアを担い、在宅療養をされるみなさんの支援を行ないます。

◆ 特徴・こだわり・めざすもの

- ① 出合いを大切にする看護サービス
- ② 乳幼児から高齢者まで、住み慣れた我が家で「笑顔」でくらせるよう、「健やかさ」にこだわりの支援
- ③ 「自宅で最期まで」の願いに応える看取り支援
- ④ 難病の方、リハビリを続けたい方の要望には、リハビリ職員との連携で対応
- ⑤ 介護されるご家族の健やかさが保てるようサポート



写真はイメージです

自分らしさと生活機能の向上をお手伝いする在宅介護

ヘルパーステーションよってって

☎ 052-626-1207
FAX 052-626-1208

「ヘルパーステーションよってって」は、介護の必要な方の健やかな暮らしをケアするため、食事介助・排泄・身体清拭などの身体介護と、調理・選択・掃除などの生活援助を行ないます。

◆ 特徴・こだわり・めざすもの

- ① 定期的に身体介護の必要な方や、困ったときの対応・緊急時の対応の必要な方に、定期巡回、随時対応型訪問介護看護を実施
- ② 介護を通じて、自分らしさと、生活機能の向上をお手伝い
- ③ 大高地域を中心に活動エリアを拡大予定。もちろん、「横丁」内の対応も



写真はイメージです

地域のつながり、医療・介護を結ぶケアプラン

よってって指定居宅介護支援事業所

☎ 052-626-1555
FAX 052-626-1556

「よってって指定居宅介護支援事業所」は、介護サービスの必要な一人ひとりに合わせたプランを作成する、ケアマネジャーのいる事業所のことです。

◆ 特徴・こだわり・めざすもの

- ① 地域で活躍するボランティアや、組合員のつながりを活かしたケアプランを実現
- ② 利用者・ご家族の希望、言葉にならない願いも受けとめる介護計画で、その人らしいケアプランをいっしょに作成
- ③ かかりつけ医や訪問看護師・リハビリなど医療に携わる人たちとの連携や、ヘルパーやデイサービスなど介護に携わる人たちと連絡を取りあい、自宅での生活を支援
- ④ 人生の最期を自宅で過ごしたい方の支援をします



写真はイメージです

「横丁」のこだわり

あなたの「できる自由」を専門性でサポートするデイケア

よってってデイケア

「よってってデイケア」は、通所リハビリテーションです。要介護の方が通って健やかなくらしに必要なリハビリをする事業所です。

☎ 052-626-1037
FAX 052-626-1038



写真はイメージです

◆ 特徴・こだわり・めざすもの

- ① リハビリの「専門スタッフ（理学療法、作業療法、言語療法）」が充実！
- ② 筋肉トレーニングのマシン・レッドコードなど「運動できる設備」が充実！
- ③ マージャンやカラオケ、パソコンなど、「できる自由さ」が充実！
- ④ 送迎範囲はおよそ半径3.5 Km程度の範囲
○東は 豊明市新栄町辺りまで ○西は 大府市共和町辺りまで
○南は 東海市荒尾町辺りまで ○北は 緑区小坂辺りまで
- ⑤ 6時間のデイケアで本人も元気、ご家族も負担の軽減
- ⑥ 浴室は個浴であんき

臨機応変の対応で、「したいこと」をサポートするホーム

小規模多機能ホームよってって

☎ 052-626-1057
FAX 052-626-1058

「小規模多機能ホームよってって」の正式名称は、小規模多機能型居宅介護。通いを基本に、必要に応じて泊り・訪問を組み合わせ、自立した在宅でのくらしをサポートする事業所です。

◆ 特徴・こだわり・めざすもの

- ① 健康状態が重くなっても、南医療生協の医療と連携。自宅とホームを利用して、「最期まで自分らしく」を実現！
- ② 昔通った馴染みの場所や喫茶店、季節を感じるお出かけなど、自分のしたいことをサポート
- ③ 認知症になっても、みんなの中で、生き生きくらす安心感を提供
- ④ 安心の365日24時間体制



写真はイメージです

「横丁」のこだわり

多目的だから気軽に出会い、まざりあいの場

自習室

「自習室」は、利用勝手の良いスペースです。貸出予約もできます（使用料必要）。



写真はイメージです

◆ 特徴・こだわり・めざすもの

- ① 本を読んだり、会話をしたり、人生を教えてもらったり…。学問だけが学びじゃない。人生の経験が活かせる場、児童、生徒、学生、まざりあって学べる場
- ② ここで出会えてよかったと思える瞬間を共有できる場。

通り抜けするだけではもったいない

よってって通り

「玄関の通路」は、いろんな文化・芸術・大道芸が展示・パフォーマンスできるスペースです。

◆ 特徴・こだわり・めざすもの

- ① 通り抜けだけじゃあもったいない。ここにすれば、なにかがあると期待ふくらむ通り道
- ② 展示・パフォーマンス、どんどん申し込めば、喜ばれること請け合い



写真はイメージです

1F 外側

整理整頓で気持ちよく、駅前の駐輪場

駐輪場

「横丁」1階の一角に、一般の駐輪場ができました。

◆ 特徴・こだわり・めざすもの

- ① 駐輪場の設置によって駅前混雑の整理整頓
- ② 盗難・破損・紛失を予防。有料の施設できちんと対応



写真はイメージです

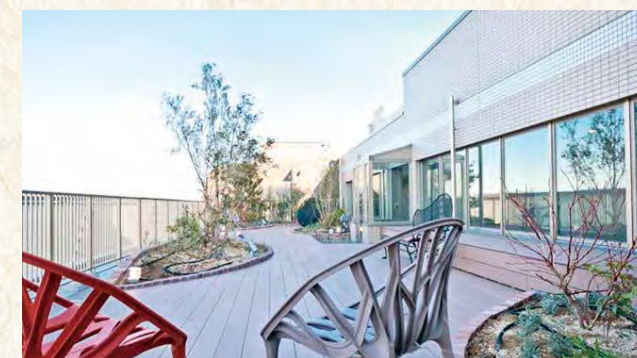
広がる空間、景観な楽しみながらまざりあう

よってって広場

「よってって広場」は、テラスの広がる、みんなのための「ごきげんスペース」。

◆ 特徴・こだわり・めざすもの

- ① J R 東海道線・新幹線と、その向こうに広がる大高緑地の自然環境を眺める広場。外気を感じながらのまざりあい空間
- ② 企画・イベントは要予約



写真はイメージです



虫歯と歯周病の予防を通じて健康なまちづくりに貢献

生協えきまえ歯科

☎ 052-626-1720 FAX 052-626-1721

「生協えきまえ歯科」は南医療生協3番目の歯科クリニックで、近接する南生協病院やよってって在宅診療所と連携することによって、全身状態に配慮した安心の歯科医療を提供します。

◆ 特徴・こだわり・めざすもの

- ① 歯のメンテナンスをすることによって、生涯美味しいものを何でも食べられるお口の健康づくりをサポート
- ② 医科と連携し、糖尿病や動脈硬化などの生活習慣病や認知症、誤嚥性肺炎などのリスクを軽減
- ③ 予防中心の歯科医療を提供し、健康なまちづくりに貢献します



写真はイメージです

やさしいフロア、適度な距離感、メンタルヘルス向上にも

メンタルクリニックみなみ

☎ 052-626-1026 FAX 052-626-1027

「メンタルクリニックみなみ」は、総合病院南生協病院からの移転です。メンタル医療が、いっそう地域の暮らしに近づきました。常勤医師2人、非常勤医師2人が対応します。

◆ 特徴・こだわり・めざすもの

- ① 朝8時半から診察開始で、通勤・通学にも便利
- ② 受付はメンタルクリニックみなみの窓口。適切な距離感を保つ待合室
- ③ 診察室数はプライバシー・防音にも配慮。好評の呼び出し表示システム。診察室、臨床心理室のイス机配置にも細かな配慮
- ④ 地域の健全なメンタルヘルス向上のための学習会を随時企画・開催。メンタルヘルスの相談もOK



写真はイメージです

メンタルプログラム、社会生活復帰に向け、連携バツグン

メンタルデイケアみなみ風

☎ 052-626-1035 FAX 052-626-1036

「メンタルデイケアみなみ風」は、自分のメンタルの病気を理解し、同じ悩みを持つ仲間との交流やプログラムを通じて、自分に合った対処法・くらしのスタイルを見つけ、社会生活の円滑化をサポートします。

◆ 特徴・こだわり・めざすもの

- ① 社会生活への復帰をめざすリハビリは、「デイケアみなみ風」におまかせ
- ② 「メンタルデイケアみなみ風」は、「メンタルクリニックみなみ」のとなりで、連携もバツグン



写真はイメージです



くらしを基点にどこへでも、確かな介護サービスで安心居住

住宅型有料老人ホーム
おたがいさまの家☎ 052-626-1270
FAX 052-626-1271

「住宅型有料老人ホーム おたがいさまの家」は、外部の介護サービスを利用する、高齢者向け賃貸住宅です。入居対象は、要介護、要支援の介護認定のある方です。なお、3階は名古屋市の第6次介護保険計画で、認知症グループホームへの転換を予定しています。

◆ 特徴・こだわり・めざすもの

- ① 見守り、介護サービス、ボランティア、自由な趣味で、快適なフロアと健やかなくらしを実現するアットホームなスペース
- ② これまでの普段のくらし、旅行（JR南大高駅）、買い物（イオンモール大高）、受診（南生協病院）、散歩（大高緑地公園）、なんでもできる便のよさを最大利用できる立地
- ③ 3階は、15.09㎡～16.93㎡（約9～10畳）の18室
・居室内には、洗面設備、緊急通報装置、テレビ・電話回線あり
・トイレ、浴室は、共有部分（一般浴室2ヶ所）
- ④ 4階は、18.14㎡～21.05㎡（約11～13畳）の21室
・居室内には、トイレ、洗面設備、緊急通報装置、テレビ・電話回線あり
・浴室は、共有部分（特別浴室1ヶ所と、一般浴室2ヶ所）



写真はイメージです

眺望バツグンの居住、お出かけ便利、もちろん介護対応も

サービス付き高齢者向け住宅
おたがいさまの家☎ 052-626-1270
FAX 052-626-1271

「サービス付き高齢者向け住宅 おたがいさまの家」は、介護の専門家が24時間365日常駐し、くらしの相談や安否確認などのサービスを提供する、60歳以上の方や、介護認定の方向けの賃貸住宅です。

◆ 特徴・こだわり・めざすもの

- ① 「住宅型有料老人ホーム おたがいさまの家」同様、行動力と利便性のよさを最大発揮できる立地
- ② 5階は、18.07㎡～21.35㎡（約11～13畳）の18室
・居室内には、トイレ、洗面設備、緊急通報装置、テレビ・電話回線あり
・浴室は、共有部分（特別浴室1ヶ所と、一般浴室2ヶ所）。シャワー付きの部屋7室あり
- ③ 6階は、18.07㎡～21.05㎡（約11～13畳）の18室
・居室内には、トイレ、洗面設備、ミニキッチン（IH調理器）、緊急通報装置、テレビ・電話回線あり
・浴室は、共有部分（一般浴室3ヶ所）。シャワー付きの部屋7室
- ④ 7～8階は、24.83㎡～33.60㎡（約15～20畳）の21室
・居室内には、トイレ、洗面設備、緊急通報装置、テレビ・電話回線、洗濯機置き場、キッチン（IH調理器）および浴室あり



写真はイメージです

「横丁」店舗の こだわり

1F 有機スパイスとたっぷり野菜 Cafe&Curry さいさい

南生協病院敷地内でオーガニックレストランを構える「にんじん」の、“地球とのフェアトレード”をテーマにしたカレーのお店です。

カレーには旬の野菜、フェアトレードの有機スパイスをたっぷり使っています。野菜やスパイスなどの農産物は地球の営みの産物です。私たちは地球の恵みに感謝してカレーから手作りしています。もちろん化学調味料も不使用。野菜の旨みだけのマイルドなカレーの味に仕上がっています。さいさいカレーを食べれば、野菜不足も解消できますよ。

アイドルタイムのコーヒーも、世界とつながるフェアトレードコーヒー。丁寧に焙煎されているので、香り高く少しあまいアロマが特徴の絶品コーヒーです。1杯ずつお入れします。

☎ 090-1416-1573



写真はイメージです

1F 健康にこだわりの発酵食材 ナチュラルカフェ ダーシェンカ

☎ 052-622-0141

愛知県内に5店舗を展開する自家製自然酵母・薪窯パンの「緑と風のダーシェンカ」初のカフェスタイルの薪窯パンの「緑と風のダーシェンカ」初のカフェスタイルの店舗。

「発酵」をテーマに、日本人になじみの深い味噌、しょうゆ、甘酒、塩麹といった発酵食品を調味料として使用します。

オーガニックの食材と手作り主義にこだわり、地元で生産された野菜をふんだんに使ったメニューをご用意しました。小さなお子様やご年配の方はもちろん、働き盛りの方にも、普段の生活に是非とりいれてほしいものばかり。

また、食事を楽しむと同時に、「食」を通じて様々な年代の人たちが集い、健康な生活につながる情報を共有できる場所をご提供いたします。地域の方々の交流の場としても是非ご利用ください。



写真はイメージです

1F 社交の場をスペイン料理で BAR 双葉屋

「大人の社交場」をコンセプトに、ウイスキー、ワイン、カクテル、スピリッツなど数100種類の洋酒や、ノンアルコールカクテルに、さまざまなアレンジを加え、お客様にご満足いただける演出でお創りします。

食事のラインナップは、アヒージョ（にんにく風味料理）、タパス（小皿・おつまみ料理）など。スペイン料理をベースにご用意します。

親しい友人、大切な方、また、お一人でも気軽にご利用いただけるよう、おちついた雰囲気でおもてなしいたします。もちろん、記念日、お祝いにもご利用ください。

スタッフ一同、こころをこめて努めさせていただきます。



写真はイメージです

2F イタリア料理で心身を健康に ラ・ロンディネ / Cafe Aperi

人生をより楽しむ事『クオリティ オブ ライフ』を念頭に、イタリア料理を通じて、人々の体と心の健康の実現に貢献する事を目的とします。土付きのにんじんやじゃがいもなど、無農薬の有機野菜やフレッシュハーブなどのオーガニック食材を農家さんから直接仕入れ、それらをふんだんに盛り込んだイタリア料理を楽しんでいただきます。

また、人々が集う空間づくりにも積極的に取り組み、イタリアのアペリという慣習（ワインやカクテルを片手に、おつまみを楽しんだりしながら人々が自然に集まり、会話を楽しむ日常に溶け込む風景）をモデルとした人と人をつなぎ、交流、にぎわいを通じた心身の健康、元気を実現する、活気あふれる食の空間の提供を目指します。



写真はイメージです

2F 東洋医学で心身を改善 こころ はり・きゅう院

☎ 052-622-0556

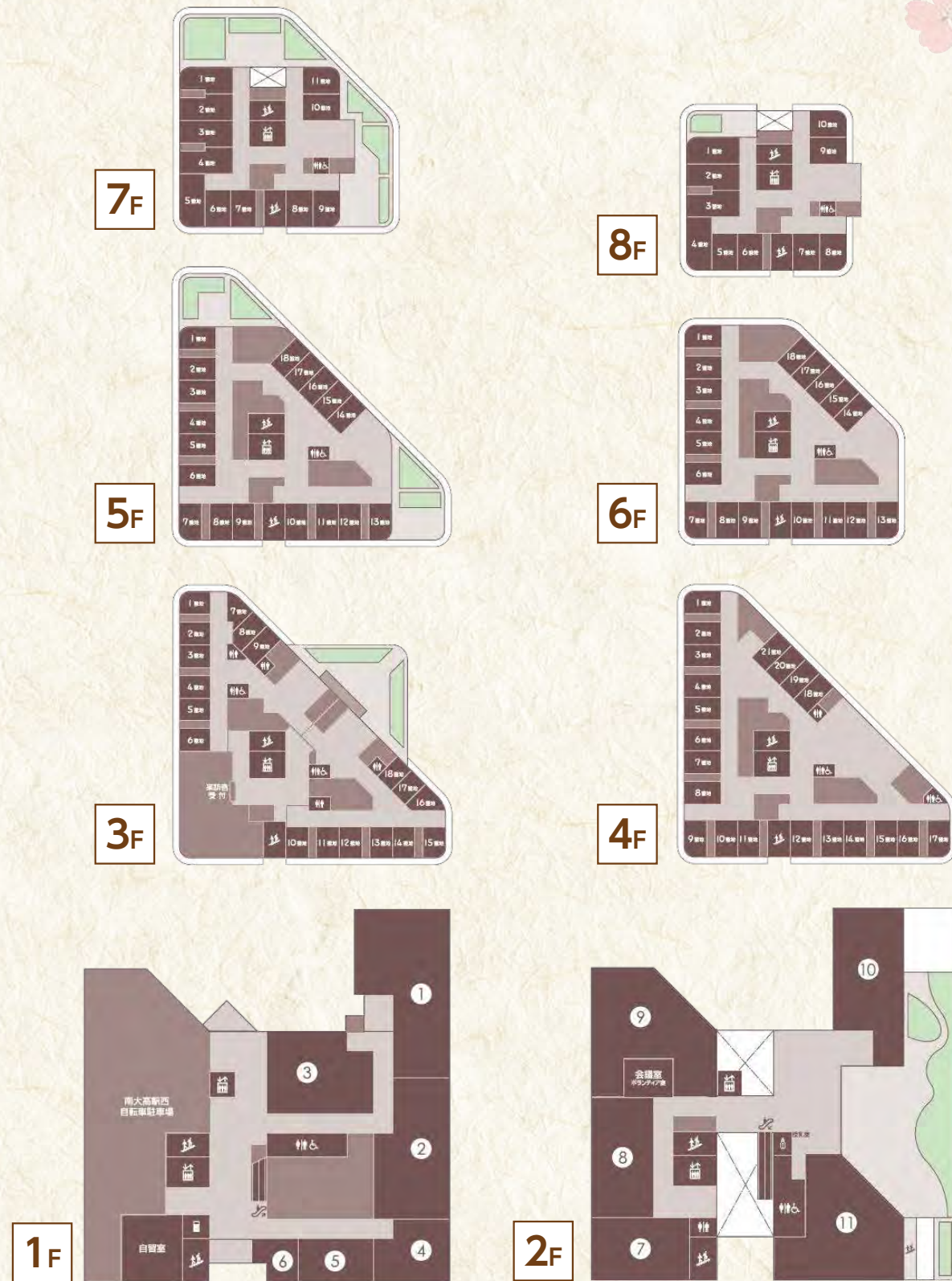
東洋医学の治療は身体を巡っている「気・血・津液（水）」の流れを整え、病気になる前段階、「未病」を治すことを目的としています。鍼灸師は「気・血・津液」のわずかな変化を脈診・舌診・腹診などの手法で捉えます。「検査をしたけど異常が無い」、「身体の調子がいつもと違う」、「最近疲れやすい」など東洋医学が得意とする分野です。

「運動療法」では、様々な運動や体操で、「筋肉・骨のバランスを整え、正しい身体の使い方を身に付け」ることで、肩こりや腰痛、膝痛の改善や再発の予防をします。鍼には「細胞の再生能力を高める効果」があります。顔に鍼をすることにより皮膚の再生が促進され、よりきれいな肌に生まれ変わります。また東洋医学的に分類されたアロマオイルを用いた全身調整も行うので、体質改善にも効果的です。



写真はイメージです

南生協よってって横丁の各階案内



- | | | |
|--------------|--|-----------------------|
| 1F | ①「よってってデイクア」 ②「小規模多機能ホームよってって」 ③「よってって在宅診療所」
④「BAR 双葉屋」 ⑤「ナチュラルカフェ ダーシェンカ」 ⑥「Cafe&Curry さいさい」 | |
| 2F | ⑦「メンタルデイクアみなみ風」 ⑧「メンタルクリニックみなみ」 ⑨「生協えきまえ歯科」
⑩「こころ はり・きゅう院」 ⑪「ラ・ロンドネ/Cafe Aperi」 | |
| 3F | 4F | 「住宅型有料老人ホーム おたがいさまの家」 |
| 5F~8F | 「サービス付き高齢者向け住宅 おたがいさまの家」 | |

健康なまちづくりを支援

南医療生協 事業所のご案内

① 総合病院 南生協病院

- ① 総合病院 南生協病院 ☎052-625-0373
- ② コープ 健診・ドックセンター ☎052-625-0489
- ③ コープ 助産所はあと ☎052-625-0382
- ④ みなみツーリスト ☎052-625-0581
- ⑤ 病児保育にここ ☎052-625-0602
- ⑥ コープ フィットネスクラブWish ☎052-625-0500
- ⑦ 南生協病院指定居宅介護支援事業所 ☎052-625-0573

② かなめ病院

- ⑧ 介護支援事業部 ☎052-611-3883
- ⑨ かなめ病院 ☎052-619-5320
- ⑩ かなめ病院デイクア ☎052-619-6012
- ⑪ かなめ病院指定居宅介護支援事業所 ☎052-619-5321

③ 星崎診療所

- ⑫ 星崎診療所 ☎052-821-9201
- ⑬ グループホームなも ☎052-614-5562
- ⑭ 小規模多機能ホームもうやいこ ☎052-627-3072
- ⑮ 老健あんき ☎052-821-0997
- ⑯ 老健あんきデイクア ☎052-821-0997
- ⑰ ヘルパーステーションほしざき ☎052-821-9260
- ⑱ 訪問看護ステーションほしざき ☎052-821-9263
- ⑲ 星崎診療所指定居宅介護支援事業所 ☎052-821-9261

④ たから診療所

- ⑳ たから診療所 ☎052-611-1880
- ㉑ たから診療所デイクア ☎052-611-1880
- ㉒ ヘルパーステーションわたぼうし ☎052-619-7701
- ㉓ たから診療所指定居宅介護支援事業所 ☎052-611-1980

⑤ 富木島診療所

- ㉔ 富木島診療所 ☎052-601-8521
- ㉕ 富木島診療所デイクア ☎052-601-8521
- ㉖ ヘルパーステーションいずみ ☎052-602-1248
- ㉗ 訪問看護ステーションいずみ ☎052-602-1242
- ㉘ 富木島診療所指定居宅介護支援事業所 ☎052-603-5637

⑥ 桃山診療所

- ㉙ 桃山診療所 ☎052-876-8880
- ㉚ 桃山診療所デイクア ☎052-876-8880
- ㉛ ヘルパーステーションあじさい ☎052-877-6671
- ㉜ 訪問看護ステーションももやま ☎052-877-6500
- ㉝ 桃山診療所指定居宅介護支援事業所 ☎052-876-6333

⑦ 有松診療所

- ㉞ 有松診療所 ☎052-625-5358
- ㉟ ヘルパーステーションわかば ☎052-624-1323

⑧ みなみ歯科診療所

- ㊱ みなみ歯科診療所 ☎052-611-4253

⑨ ひまわり歯科

- ㊲ 生協ひまわり歯科 ☎0562-54-3718

⑩ 生協ゆうゆう村

- ㊳ グループホームみんなのざいしよ ☎052-619-6221
- ㊴ グループホームいりやあせ ☎052-619-3181
- ㊵ 小規模多機能ホームいりやあせ ☎052-612-2215
- ㊶ 小規模多機能ホームみんなのざいしよ ☎052-619-6220
- ㊷ ショートステイきまてんぐ ☎052-619-5576
- ㊸ おかげさみなみ ☎052-611-6100
- ㊹ 多世代共生住宅わいわい長屋 ☎052-611-5500
- ㊺ がやが家 ☎052-619-5578
- ㊻ デイサービスきまてんぐ ☎052-619-5575
- ㊼ ヘルパーステーションかなめ ☎052-611-5885
- ㊽ みなみ訪問看護ステーション ☎052-612-9181

⑪ 生協のんびり村

- ㊾ グループホームほんわか ☎0562-35-3381
- ㊿ 小規模多機能ホームおさぼり ☎0562-85-2272
- ㊽ 多世代共生住宅あいあい長屋 ☎0562-85-2272

⑫ 南生協よってって横丁

代表 ☎052-626-1270 FAX 052-626-1271

- ㊿ よってって在宅診療所 ☎052-626-1215 FAX 052-626-1216
- ㊿ メンタルクリニックみなみ ☎052-626-1026 FAX 052-626-1027
- ㊿ メンタルデイクアみなみ風 ☎052-626-1035 FAX 052-626-1036
- ㊿ 生協えきまえ歯科 ☎052-626-1720 FAX 052-626-1721
- ㊿ 訪問看護ステーションよってって ☎052-624-0703 FAX 052-624-0703
- ㊿ ヘルパーステーションよってって ☎052-626-1207 FAX 052-626-1208
- ㊿ よってって指定居宅介護支援事業所 ☎052-626-1555 FAX 052-626-1556
- ㊿ よってってデイクア ☎052-626-1037 FAX 052-626-1038
- ㊿ 小規模多機能ホームよってって ☎052-626-1057 FAX 052-626-1058
- ㊿ サービス付き高齢者向け住宅おたがいさまの家 ☎052-626-1270 FAX 052-626-1271
- ㊿ 住宅型有料老人ホームおたがいさまの家 ☎052-626-1270 FAX 052-626-1271

㊿ 株式会社ライフネットみなみ ☎052-625-0620

㊿ 一般財団法人 協働・夢プロジェクト



名南ブロック (名古屋市南区南部)



組合員活動紹介

横丁との関わり

みなみ安心まちづくりの会（毎月開催）をセンターに、認知症に日本一強いまちづくり、安心してくらし続けられるまちづくりを目指して、毎月第3水曜日に開く「みなみ安心まちづくりの会」。今年100回を迎え、名南ブロックはますます元気です。

まちづくりから生まれた「かなめ式バランス体操」、100回を数える「みなみ安心まちづくりの会」、「男塾（おとこじゅく）」、自宅での班会もたくさんあります。南医療生協のつながりのもと、「向こう3軒両隣り」と事業所を結びつけ、地域のネットワークをより確かなものにしています。名南ブロックは、組合員加入率を100%にして、超高齢社会を乗り越えていきます。

名南ブロック内には、5支部と、かなめ病院、みなみ歯科診療所、介護事業所など16事業所があります。2005年には、複合型施設、生協ゆうゆう村を市民の協同でつくりました。職員と組合員や利用者さんと協力しながら、健康づくり、認知症や高齢者に強いまちづくりに奮闘しています。

男塾大根収穫祭



こまさわありがとう会

みなあんまつり



- 支部：①柴田 ②白水南 ③白水北 ④千鳥南 ⑤千鳥北
- 組合員：4,033人 ■機関紙「健康の友」手配りによる配布率99.0%（15年1月末現在）
- 班会：食事会班会、救急医療情報キット班会、ハーモニカ班会、ラジオ体操班会、パッチワーク班会、お嫁さん班会、ウォーキング班会、ゴキブリだんご班会、健診予約班会、医療講座班会など、70班がのべ645回開催（14年4月～15年1月まで）。

星崎ブロック (南区南東部・緑区浦里)

組合員活動紹介

横丁との関わり

地域住民・公職者、介護事業者、医療関係者などが集まり、地域のこれからについて考え交流する「星崎まちづくりのつどい」（年1回）などで、星崎ブロックのまちづくりをすすめています。ここに来れば何かやってる「楽市楽座」なども大切なたまり場です。

「世界1周ウォーキング」などの運動、体操で健康づくりをすすめています。様々な医療・介護サービスとこのような取り組みを合わせ、星崎版の地域包括ケアシステムをつくっていくことが目標です。「星崎まちづくりのつどい」、「ママ茶会」、「じゃんじゃん班会」、「いっぷく茶屋」など、ここに来ればなにかがあります。

星崎ブロックには、10支部と、星崎診療所をはじめ8事業所があります。星崎診療所のほか、老健あんき、グループホームなども、多くの介護事業所があります。また、ブロックの「星崎ボランティアの会」のほか、各支部には「誰もが集えるたまり場」をつくり、活動しています。「困った!と言える関係」もあります。地域ささえあいセンターでのささえあいの取り組みが職員と協同して広がっています。

wish 出張体力測定



健康まつり餅つきに集まる参加者

星崎まちづくりを考えるつどい



- 支部：①星崎 ②元鳴尾 ③南野2丁目 ④上浜 ⑤南3鳴尾 ⑥笠寺東 ⑦笠寺西 ⑧笠寺北 ⑨笠東 ⑩浦里
- 組合員：4,852人 ■機関紙「健康の友」手配りによる配布率98.9%（15年1月末現在）
- 班会：ウォーキング班会、バスハイク班会、グラウンドゴルフ班会、骨チェック班会、折り紙班会、フォークダンス班会、パソコン班会、お茶会班会、医療講座班会、笑いヨガ班会、セラバンド班会など、136班がのべ1,083回開催（14年4月～15年1月まで）。

たからブロック (南区中北部)

組合員活動紹介

横丁との関わり

集合住宅の多い地域での、まちづくりをすすめています。囲碁・将棋班を定期的に行っているのは、たからブロックなど一部だと思うので、「横丁」でも出張して行きたい。イタリアレストランなどで婚活がやりたい。自習室で学習支援もやれたらと思います。

タオル体操はバカにはできません。50肩が治ったとか、血圧が下がったとか、杖や車いすの助けがなくても歩けるようになったとかの効果が、実際に多数報告されています。体操後は、たから診療所の喫茶コーナーなどにも結びつき、人の繋がりも広がり、新しい班会がたくさん生まれていることも自慢です。

たからブロックには、9支部と、たから診療所をはじめ4事業所があります。たから診療所を中心に、医療・介護・まちづくりをすすめています。自慢はなんといっても「タオル体操」です。3年前に数名で始まった取り組みが、今では5か所に広がり、1か月の参加者は延べで2000人以上。この体操の良さは、タオル1本で簡単にできること。

職員を講師に班会開催



バランス体操班会

タオル体操



- 支部：①北頭宝生 ②中割弥次エ ③堤起浜田1 ④神松元塩1 ⑤元塩浜田 ⑥大生 ⑦南区北東 ⑧南区北西 ⑨瑞穂
- 組合員：7,051人 ■機関紙「健康の友」手配りによる配布率83.2% (15年1月末現在)
- 班会：元祖タオル体操班会、タオル体操出前班会、囲碁班会、カラオケ班会、童謡班会、三味線班会、食事班会、ストレッチ班会、医療講座班会、バーベキュー班会、フラダンス班会など、120班がのべ1,334回開催(14年4月～15年1月まで)。

東海市ブロック (東海市全域)

組合員活動紹介

横丁との関わり

地場の自慢の農作物がふんだんにある東海市ブロックです。ブロック活動資金づくりに、「横丁」に「まちのえき」をつくり、触れ合いながら対面販売できないか。モノづくりが得意な人が多いので、意気込んで、「横丁」の充実に力を発揮したいと思います。

春には「さくらまつり」、夏には「流しそうめん」や「盆踊り」、秋には「健康まつり」、冬には「もちつき大会」。どれもこれも、組合員さんたちと職員の協力があって実現する、東海市ブロックの風景です。各支部で男性の支部長さんが増え、組合員さんの“困った!”に力を発揮していただき、ささえあい、たすけあいの底力がアップしています。

東海市ブロックには、10支部と、富木島診療所をはじめ8事業所があります。支部・ブロックの協同の力で完成させた複合施設である生協のんびり村は、組合員と職員が協同で場所を探し、東海市役所との数回にわたる訪問と懇談会、107プランと名づけての出資金集め、組合員なかま増やと、いずれも、これまでにない取り組みの結果、開設しました。そうした施設ですから、見学者が今も絶えません。

さくらまつり



もちつき大会



ふきしま健康まつり



流しそうめん

- 支部：①名和南 ②名和北 ③名和中 ④富木島東 ⑤富木島西 ⑥加木屋南 ⑦加木屋北 ⑧荒尾東 ⑨荒尾西 ⑩横須賀
- 組合員：8,738人 ■機関紙「健康の友」手配りによる配布率65.4% (15年1月末現在)
- 班会：布ぞうり班会、流しそうめん班会、折り紙班会、カラオケ班会、体組成チェック班会、パッチワーク班会、ちぎり絵班会、和服リフォーム班会、組み紐班会、オカリナ班会、草取り班会など、78班がのべ485回開催(14年4月～15年1月まで)。

知多半島ブロック (知多半島ほぼ全域)

組合員活動紹介

横丁との関わり

地域包括ケアシステムを10年以上前から先取りした南医療生協。その到達点である「横丁」を学び、利用し、多世代のにぎわいにふれ合いたい。そして、最期まで安心して住み続けることのできる知多半島ブロックにしていこうと思います。

知多半島ブロックは、生協ひまわり歯科をフル活用。ことあるごとに、診療所内の多目的室などを開放したり、花壇を手入れしたり、多世代で笑顔いっぱいの活動を行っています。歯科医師や歯科衛生士も、「お口の健康」などの出張講座、「骨コツメニュー&歯ッスル体操」、各人に合った歯ブラシを衛生士がセレクトで「めざせ8020」などで大活躍中です。例年、秋に、「ひまわりきらきらまつり」も開催しています。

知多半島ブロックには、10支部と、唯一の事業所、生協ひまわり歯科があります。生協ひまわり歯科は、地域の組合員が職員と連日地域訪問し、仲間増やし、増資の取り組みをすすめるだけでなく、診療予約患者を確保し、2002年の初年から黒字にしました。南医療生協の「組合員の財産は赤字を出さない」の原点です。

ひまわりきらきらまつり



ひまわりっこくらぶ



バランス体操



- 支部：①半田知多半島 ②半田南 ③半田北 ④常滑南準備 ⑤常滑北 ⑥武豊 ⑦知多市東部 ⑧知多市南部 ⑨知多市ひまわり ⑩知多市八幡
- 組合員：4,134人 ■機関紙「健康の友」手配りによる配布率73.2% (15年1月末現在)
- 班会：ストレッチ班会、お茶会班会、ウォーキング班会、ヨガ&ランチ班会、医療講座班会、習字班会、手打ちうどん班会、バランスボール班会、食事班会、みかんの収穫班会、陶芸班会など、125班がのべ611回開催(14年4月～15年1月まで)。

桃山ブロック (緑区北部)

組合員活動紹介

横丁との関わり

年をとっても、ひとりになっても、認知症になっても、くらししていけるまちづくり。こうした目標で、おとしから地域組合員と職員で、「桃山天白未来構想会議」を開いてきました。10年先のことではなく、2年3年先を自分たちの手でなんとかしたいと思います。



「ラジオ体操」や「ウォーキング」、「太極拳」や「気功」などの健康づくり班会のほか、「絵手紙」や「布ぞうりづくり」などのものづくり班会など、多種多様な活動が地域で取り組まれています。また、診療所で毎月開催される「カラダげんき講座」では、転倒・認知症予防のためのスクエアステップをみんなで取り組み、地域に広がっています。たまり場・サロンづくりもすすめています。

桃山ブロックには9支部と、桃山診療所をはじめ5事業所があります。桃山診療所をセンターにしています。健康づくり、健診ドックを意識して取り組み、地域訪問をして健診お誘い活動をすすめています。健康づくりを目的とした班会数も、開催数も群を抜いています。もちろん、健診数も。健診特診日には、天白ブロックの支部と協力・分担し合い、ボランティア参加します。

いきいきフェスティバル



桃山天白合同「未来構想会議」



カラダげんきスクエアステップ



- 支部：①桃山 ②黒石 ③戸笠 ④滝ノ水小坂 ⑤新海東 ⑥新海西 ⑦扇台 ⑧鎌倉台準備 ⑨神の倉
- 組合員：6,452人 ■機関紙「健康の友」手配りによる配布率94.7% (15年1月末現在)
- 班会：健診予約班会、自彊術班会、カラオケ班会、官足法班会、ソフトバレー班会、加入のおさそい班会、フラダンス班会、ラジオ体操班会、布ぞうり班会、太極拳班会、演劇鑑賞班会、マージャン班会など、134班がのべ1,616回開催(14年4月～15年1月まで)。

天白ブロック (天白区全域)



組合員活動紹介

横丁との関わり

桃山ブロックと協同で続けている「桃山天白未来構想会議」。各学区の民生委員さんや老人会・社会福祉協議会とも協同で、お互い様のまちづくりをおこなっていきたい。「いっぷく運動」をさかんにして、「たまり場」を増やしたいです。



天白西支部の「ばんげの会」は、一品持ち寄りで組合員さん宅の食事会を楽しむ一人ぐらしの皆さんのたまり場。ちなみに、「ばんげの会」は昨年12月に行われた組合員・職員・公職者などが集う「まちづくり交流会」で活動紹介され、注目されています。また、天白北支部は転倒・認知症予防のための「スクエアステップ」という簡単な運動を計画中。

天白ブロックには、4つの支部があり、桃山ブロックと同様、桃山診療所をセンターにしています。学区の運動会や地域のお祭りでの健康チェックに毎回取り組んだり、桃山診療所の健診特診日のボランティアに参加したり、南生協病院の人間ドック・健診希望者にはマイクロバスを運行するなど、健診・健康づくりにはげんでいます。健康づくりやものづくり、趣味の班会などもたくさん開催されています。

いっぷく班会



スクエアステップ



足もみ班会



- 支部：①久方 ②天白東 ③天白西 ④天白北
- 組合員：2,613人 ■機関紙「健康の友」手配りによる配布率91.5% (15年1月末現在)
- 班会：昔ばなし班会、お月見班会、食事会、炭焼き班会、犬猫大好き班会、ケアプラン立会い班会、写真班会、小物づくり班会、予防接種お誘い班会、ヨガ班会、皮工芸づくり班会、ショッピング班会など、59班がのべ473回開催(14年4月～15年1月まで)。

緑ブロック (緑区中東部・豊明市)

支部は地域でおいさまのまちづくりをすすめる組合員の「くらしの協同組織」。組合員の自治が南区療生協の事業所をつくり運営しています。

組合員活動紹介

横丁との関わり

毎月最終の金曜日に、緑ブロックの近未来づくりを語り合う「あしたの会」を開催しています。地域になくはない有松診療所にしていくなは、どのように関わっていこうかなど、たまり場としての利用の仕方も含め、話し合いをしています。

新たな地域づくりが、もう始まろうとしています。緑ブロックの中心は有松診療所。毎年恒例の「ありまつ健康まつり」を開催するのここ。ここをセンターにして、月1回の地域訪問や、毎月第4土曜日の「とっとり体操」を取り組んでいます。体操後は血圧測定、そして、楽しいお茶会と続きます。有松診療所の待合で喫茶「りあん(フランス語で絆)」がはじまり、評判のたまり場になっています(月・金曜)。

緑ブロックには、10支部と、有松診療所をはじめ5事業所があります。緑ブロックは緑区の南東地域と豊明市。南生協病院が緑区大高町に移転した2010年以降、近隣のブロック同様、組合員が大幅に増加。組合員密度が高くなったため、組合員活動を円滑にするため、支部分割を計画しています。それができると、今度はブロック分割も視野に入れています。

14年11月 有松わくわく健康まつり



喫茶りあん



緑ブロック有松診療所あしたの会



- 支部：①有松東 ②有松西 ③桶狭間 ④南陵 ⑤東丘 ⑥太子 ⑦鳴海 ⑧左京山 ⑨豊明南 ⑩豊明北
- 組合員：10,571人 ■機関紙「健康の友」手配りによる配布率85.7% (15年1月末現在)
- 班会：介護学習班会、パッチワーク班会、トットロ体操班会、気功班会、詩吟班会、健康の友を読む班会、卓球班会、美容講習班会、料理教室班会、映画班会、おしゃべり班会、生け花班会など、123班がのべ473回開催(14年4月～15年1月まで)。

大高ブロック (緑区大高町)

組合員活動紹介

横丁との関わり

「横丁」の一番の地元として、「横丁体験」を広く伝えたい。南医療生協が楽しい、元気になる人を増やしたい。

「横丁」ボランティア活動をしたい。空き家を探し、歩いていけるたまり場所をたくさんつくりたい。協同がいっぱいの大高ブロックにしたいです。

大高ブロックには、8支部と、総合病院南生協病院をはじめ9事業所があります。大高の地は、氷上姉子神社や大高城址など歴史のある古いまちです。2010年、南生協病院の移転をきっかけに、ブロックとして誕生。同時期に、JR南大高駅、イオンモールなども完成し、高齢者から赤ちゃんまでの世代の方が交流する地域です。大高町には「地付き」の方が多く、大高を愛する人が多いのが特徴。歴史めぐりのウォーキングや歴史班会が人気です。

大高歴史ウォーキング班会



人口急増の地域ですが、「健康の友」配布率にこだわって、30代から70代までの運営委員が、手作りパンやケーキ、おしゃべりを楽しみながら、まちづくりをすすめています。南生協病院の総合案内ボランティアにも多数参加。介護者の会「大高ほのぼの会」も月1回開催しています。コープあいち大高店での健康チェック(第3木曜)も人気です。



健康まつり



医師を講師に班会開催

- 支部：①大高西南 ②大高西北 ③大高南東 ④大高北 ⑤大高中 ⑥森の里 ⑦大高中之郷準備 ⑧大高藤塚
- 組合員：6,262人 ■機関紙「健康の友」手配りによる配布率72.7% (15年1月末現在)
- 班会：歴男歴女班会、子育て班会、大正琴班会、英語班会、バレーボール班会、歯医者に行こう班会、生け花班会、八幡社境内をきれいにしよう班会、吹き矢班会、コーラス班会、ママヨガ班会、産後ケア班会など、81班がのべ600回開催(14年4月～15年1月まで)

大府東浦ブロック (大府市・東浦町全域)

組合員活動紹介

横丁との関わり

「横丁」のお店に、ひとりでも、高齢者や障害のある方でも、赤ちゃん同伴でも、気楽に入り、くつろげる雰囲気のある場所になると期待しています。お隣りの大府東浦ブロックとして、「横丁」を大いに活用し、大いに盛り上げ、いざという時にはお世話になります。

大府東浦ブロックは、「健康寿命で生き抜くために」をテーマに、日々「ケンケンサイクル(ドック・健診→健康づくり→健康チェック)」をじょうずに循環させる活動を積極的に取り組んでいます。「日常生活動作が自立している期間」である「健康寿命」は、愛知県は男性が78.4歳、女性が83.2歳。大府東浦ブロックは、日々のくらしを豊かにする「健康寿命」を伸ばそうと、楽しい班会をたくさん開き、お友達も増やしています。

大府東浦ブロックには、5支部(①共長②北山東山③大府神田④石ヶ瀬吉田⑤東浦)があります。事業所はありませんが、大府東浦ブロックの南隣で、南生協病院を積極的にささえています。ブロック内各支部の活動を知らせる「大府4支部だより」・「東浦支部ニュース」を「健康の友」に折り込みお届けしています。ちなみに、組合員宅への配布率は90%以上です。

あおぞら健康チック



世話人交流会



リフレッシュ体操



- 支部：①共長 ②北山東山 ③大府神田 ④石ヶ瀬吉田 ⑤東浦
- 組合員：5,642人 ■機関紙「健康の友」手配りによる配布率90.1% (15年1月末現在)
- 班会：セラバンド班会、家庭菜園班会、カラオケ班会、リンパ&ゆるトレ班会、病院お見舞い班会、病院見学班会、リビングウィル班会、お手玉班会、味噌づくり班会、リフレッシュ班会など、57班がのべ133回開催(14年4月～15年1月まで)。

西三河ブロック (知立・安城・刈谷・岡崎)

組合員活動紹介

横丁との関わり

JRや車に乗って、南大高をめざす西三河ブロックです。1・2階にある「横丁」のいろんな施設、多世代まざり合いができる「自習室」、「レストラン」、「よってって広場」など、ブロック・支部・班などでも大いに利用していきたいです。

「健康寿命」を伸ばそうと、健診からはじまる健康づくりとして、それぞれの支部・班で運動を取り入れながら、南生協病院のリハビリテーション科と協同で、健康チェック、体力チェック、チャレンジヘルスアップ講座などに楽しく開催し、各支部の特性を活かし、南医療生協の輪を広げています。

西三河ブロックは、4支部があり、いずれも自治体単位です。事業所はありません。西三河ブロックは、「一歩一歩プロジェクト」を立ち上げ、「地域でのくらしささえあい、たすけあいのあるまちづくり」を、どのように実現していくのかを、学習会、施設見学などやりながら、検討してきました。その結果、顔の見える、安心できるたまり場づくりがはじまっています。その第一歩は、「地域班にこだわる」こと。

自宅を開放して流しそうめん



「いちぶいっかい」(1ブロックに1介護事業所づくり)で施設見学



自治体主催のまつりで健康チェック



- 支部：①知立 ②安城 ③刈谷 ④岡崎
- 組合員：1,862人 ■機関紙「健康の友」手配りによる配布率84.8% (15年1月末現在)
- 班会：卓球班会、小物づくり班会、海釣り班会、親子水入らず班会、映画班会、健診学習会班会、おしゃべり班会、編み物班会、習字班会、太極拳班会、カラオケ班会、健診結果班会など、52班がのべ296回開催(14年4月～15年1月まで)。

尾張地域 瀬戸支部

組合員活動紹介

瀬戸支部は、2011年にできた比較的新しい支部で、ブロックも事業所ありませんが、地元在住外国人向け健康チェックや無料健康相談を、自治会など様々な団体と2008年から継続して取り組むなど、安心して住み続けられるまちづくり、地域全体のコミュニケーションづくり、個人と諸団体のネットワークづくりをすすめています。また、地域包括ケアの拠点をつくるため、訪問看護ステーション開設に向けて準備をはじめています。

横丁との関わり

瀬戸支部では、地域包括ケアを行政にまかせきりにせず、協同する団体が商店街に事業所を開き、ここにくれば介護・福祉などの困りごとが“なんとかなるさ”という拠点をつくるための活動チーム「さるなかつな」があり、取り組んでいます。

健康づくり体操

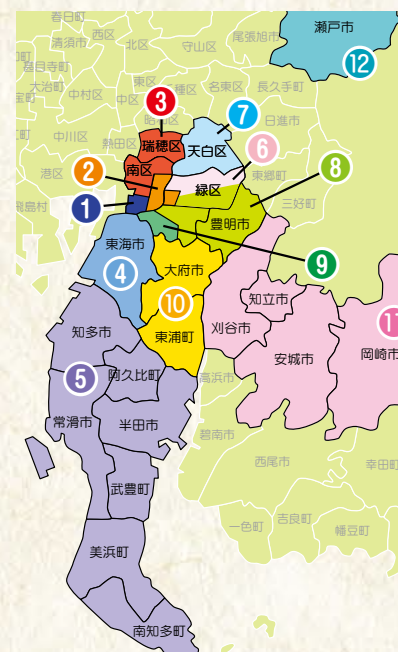


窯のひろば班会



- 支部：①瀬戸 ■組合員320人 ■機関紙「健康の友」手配りによる配布率93.5% (15年1月末現在)
- 班会：お絵かき班会、ヨガ班会、体組成チェック班会、家庭科班会、大声で歌ってストレス発散班会など、6班がのべ12回開催(14年4月～15年1月まで)。

南医療生協 11 ブロック・85 支部のマップ



- ①名南ブロック (南区南西部) 5 支部 ①柴田 ②白水南 ③白水北 ④千鳥南 ⑤千鳥北
- ②星崎ブロック (南区南東部・緑区浦里) 10 支部 ①星崎 ②元鳴尾 ③南野2丁目 ④上浜 ⑤南3鳴尾 ⑥笠寺東 ⑦笠寺西 ⑧笠寺北 ⑨笠東 ⑩浦里
- ③たからブロック (南区中北部・瑞穂区) 9 支部 ①北頭生 ②中割弥次工 ③堤起浜田 ④神松元塩 ⑤元塩浜田 ⑥大生 ⑦南区北東 ⑧南区北西 ⑨瑞穂
- ④東海市ブロック (東海市全域) 10 支部 ①名和南 ②名和北 ③名和中 ④富木島東 ⑤富木島西 ⑥加木屋南 ⑦加木屋北 ⑧荒尾東 ⑨荒尾西 ⑩横須賀
- ⑤知多半島ブロック (知多半島ほぼ全域) 10 支部 ①半田知多半島 ②半田南 ③半田北 ④常滑南 ⑤常滑北 ⑥武豊 ⑦知多市東部 ⑧知多市ひまわり ⑨知多市南部 ⑩知多市八幡
- ⑥桃山ブロック (緑区北部) 9 支部 ①桃山 ②黒石 ③戸笠 ④滝ノ水小坂 ⑤新海東 ⑥新海西 ⑦扇台 ⑧鎌倉台 ⑨神の倉
- ⑦天白ブロック (天白区全域) 4 支部 ①久方 ②天白東 ③天白西 ④天白北
- ⑧緑ブロック (緑区中東部・豊明市) 10 支部 ①有松東 ②有松西 ③桶狭間 ④南陵 ⑤東丘 ⑥太子 ⑦鳴海 ⑧左京山 ⑨豊明南 ⑩豊明北
- ⑨大高ブロック (緑区大高町) 8 支部 ①大高西南 ②大高西北 ③大高南東 ④大高北 ⑤大高中 ⑥森の里 ⑦大高中之郷 ⑧大高藤塚
- ⑩大府東浦ブロック (大府市・東浦町全域) 5 支部 ①共長 ②北山東山 ③大府神田 ④石ヶ瀬吉田 ⑤東浦
- ⑪西三河ブロック (知立・安城・刈谷・岡崎) 4 支部 ①知立 ②安城 ③刈谷 ④岡崎
- ⑫その他地域 (尾張地域) 1 支部 ①瀬戸

ごいっしょしませんか 南医療生協

みんなの必要なサービスを、
みんなの協同で実現したいと
思いませんか？



のべ8500回めざす班会、100箇所を
めざすたまり場。地域には交流がいっぱい

なにかあったとき、
グチのいえる人、相談できる人や
窓口がありますか？



いざというとき、近くのお友達は、
とても頼りになる相談相手です

あなたが楽しく交流できる
「たまり場」はありますか？



名古屋市の土地につくるまざりあい施設
「南生協よってって横丁」が誕生

あなたは**楽しく人の世話を焼く**
ことができますか？
したいと思いませんか？



世話焼きの名人が地域にはいっぱい。
南医療生協で一流の世話好きになれるかも

医療や介護、くらしなど
知識をお友だちと学びたいと
思いませんか？



気軽に確かな講師陣。医師・看護師・
理学療法士、各科の保健予防なども多彩

南医療生協の
「くらしの協同づくりがまちづくり」
をごいっしょしませんか



市民の目線が、「おもちゃ箱」のような
総合病院をつくりました

おすすめします 加入・増資

組合員になるには？

- 南医療生協には、愛知県に「在住」、「勤務」の方が加入できます
- 「加入申し込み用紙」を記入の上、「出資金」を添えてお出しください
- 「出資金」は1口千円で、5口・10口からの加入をお願いしています

「出資金」って？(くらしまちづくりの源)

- 医療生協は組合員になられたあなたの「出資金」によって運営されます。現在、75000人の組合員さんが見えです
- 「出資金」を積み立て、南医療生協に活かしてください
- 「出資金」は寄付ではありません。脱退は定款に従いお返しさせていただきます

地域での利用は？(あなたの健康・くらしにお役立ち)

- 地域組合員「班会」に、職員・サポーターも参加(要予約です)
- 「健康づくり」や「班会・イベント」に参加・開催できます
- 「骨密度」・「体組成測定」・「血管チェック」などの健康チェックを組合員価格でご利用いただけます
- 月刊紙「健康の友」を無料でお届け(手配り地域のみ。他は年1回)
- あなたの地域でも、組合員と職員の協同の取り組みにより、介護などの「事業所づくり」や、「医療生協らしいまちづくり」ができます

事業所の利用は？(医療・介護・健康づくり)

- 病院・診療所・在宅医療・介護事業・たすけあい事業など、南医療生協の事業所をご利用いただけます
- 「健診を組合員価格」でご利用できます(一部除外あり)
- インフルエンザなどの予防接種・各種診断書など、「自費料金サービス」を組合員価格でご利用できます(一部除外あり)

班会

3人から
はじめられる

っていいな!



組合員さんだから 参加できます ご自分たちでも開けます



医師・看護師など職員もおじゃま! (要予約)



班会が評判になり、CBCテレビ出演も



ちょっとした悩みが笑顔に変わる、それが班会。くらしの「お互いさま」が息づきます



いま、地域で大評判の「タオル体操」。火付け役は組合員さんたち



地域医療や介護のこと・「南生協よってって横丁」のことも



南医療生協の「グラウンド・ゴルフ」に燃えるみなさん



子育て世代の楽しい交流に、サンタさんもサプライズ参加

「班会ってなあに？」

班会は、「お互いさま」の場、「親しい人との楽しいひととき」・「くらしのささえあい・たすけあい」・「学び」・「ご近所のみなさんと事業所職員の交流」の場です。
「みんなちがって みんないい ひとりひとりのいのち輝く まちづくり」をめざしましょう。

南医療生協の事業所、支部にお問い合わせ、お申し込みください 地域ささえあいセンター052-625-0650

地域のつばやきを集めてつくる まざり合いの明るいまちづくり 「南生協よってって横丁」 ものがたり



南医療生活協同組合

第1部

南医療生協は、市民
の協同にこだわった
「くらしの協同組織」
です

南医療生協の基本理念

みんなちがって
みんないい
ひとりひとりの
いのち輝く
まちづくり



1959年の死者5千人以上出した伊勢湾台風の復興活動の中で、「自分たちのかかれる診療所が欲しい」と308人市民が出資金を出し合い、南医療生協を誕生させました



2014年現在、85地域の組合員の支部があり、総合病院をはじめ、医科や歯科の診療所、訪問看護、訪問介護などが運営されています。「南生協よってって横丁」を除いた事業所数です

南医療生協の概況

■組合員総数:75,120人
■出資金総額:29億1793万円
■常勤職員:952人(非常勤は常勤換算後)
以上は2015年1月末現在
■外来延べ患者数:428,909人
(1日外来患者数:1,439人)
■入院延べ患者数:135,787人
■事業収入:102億7296万円
■経営剰余:5億6399万円
以上は2014年3月末現在

南医療生協の「地域の協同」到達

■支部は「くらしの単位」 85支部
■支部運営委員は「まちづくりサポーター」615人
■機関紙手配りは「安否確認のつながりの単位」
3,339ルート 40,367部
■機関紙配布率は「情報ネットワークの単位」
支部のある地域:83.8%、全県75.5%
■積立増資は「生協を支える単位」 4,369人
■活動班は「地域だんらんの単位」 1,078班
■班会開催は「まちの役場・よってっての単位」
8,127回
■対話数「つながる単位」80,349人
以上は2015年1月末現在

自治会など、地域のみなさんとの くらしの協同・交流



毎年恒例の「まちづくり交流会」。組合員・職員のほか、障害者・民生委員・自治会長・老人クラブ会長・大学関係者、行政担当者など、くらしの協同が交流されています

「1支部1福祉運動」=いっぶく運動 55支部90箇所で開催



地域で活躍する支部の福祉の取り組みが「いっぶく運動」。食事をしたり、よもやま話やゲームをしたり、悩みを話したり。とにかく、みんながわいわい集まります

瀬戸支部と地元自治会の 外国人健康チェック・健康相談



在日外国人の健康相談も、地元の自治会や組合員、医師・看護師・リハビリ職員などと協力で毎年実施。組合員の健康チェックサポーターも活躍します

支部・組合員がサポーターで 開催する健康チェック



地域のどこでも健康チェック。スーパーの玄関横でも、イオン大高店のコートでも、南医療生協の健康チェックコーナー。体組成・骨密度・血圧チェックなど、多彩です

一日のはじまりを告げる みんなの「タオル体操」



地域の人々が、日祝日以外の毎日、南医療生協オリジナルの「タオル体操」。喫茶する仲間づくりもはじまり、毎朝、各地で50~60人の健康づくりが広がっています

『健康の友』手配りでつながる 組合員のまちづくり



南医療生協の機関紙『健康の友』。組合員による無償の手配り。毎月50,000人の組合員さんの手元に届いています。支部のある地域では配布率約84%。あなたも、ご自宅近隣の10部程度の手配りにご協力いただけませんか

のびのび すくすく 子育て支援



「のびすくすの会」は子育て応援団。産後の兄弟の子守り・買い物の手伝い・保育園などの送迎・子育て相談などをします。イベントには親子が「いっっぱい」

最近12年ほどの市民の協同づくり

②2004年「グループホームなも」



……それがかたちになった「グループホームなも」。空き家を改修して「まちにとけこむ」介護施設に。全国の「介護甲子園大会」では優秀賞を2年連続して受賞しています

最近12年ほどの市民の協同づくり

⑥2008年「老健あんき」



「老健あんき(29床・全室個室)」。星崎診療所の新築移転とセットで併設。「要求追求」ではなく、自分たちでつくる「要求実現」の大きな協同が広がっていきます

最近12年ほどの市民の協同づくり

⑩2011年「南医療生協の考える良い医療・良い介護」の4つの指標 決定

- ①社会的な水準が確保されている
- ②不必要なことは行なわない
- ③納得と同意に基づいている
- ④地域に「ささえあい・たすけあいのネットワーク」がある

第2部

南医療生協が市民の協同で取り組んだ最近12年間の事業所づくりです

最近12年ほどの市民の協同づくり

③2005年「生協ゆうゆう村」



おなじく、「生協ゆうゆう村」は地元の方のご厚意で土地を購入。敷地600坪以上。デイサービス・ショートステイ・多世代共生住宅・地域交流施設など複合型施設

最近12年ほどの市民の協同づくり

⑦2008年「生協のんびり村」



「生協につくってもらう」ではなく「生協でつくる」協同による事業所づくり、まちづくり。「生協のんびり村」は敷地800坪以上。地元の方の土地の提供を受け、グループホーム・小規模多機能ホーム・多世代共生住宅など多施設



南医療生協の事業所は、治療・利用だけでなく、その人の「くらしの困った」が少しでも緩和できるよう、本人承諾のうえで、支部ご近所の組合員さんたちにお知らせし、ささえてもらっています。こうした協同の営みは、良い医療・介護をいっそう確かにする「お互いさまのまちづくり」です

最近12年ほどの市民の協同づくり

①2003年「百人会議」



「百人会議(介護事業推進会議)」。南医療生協らしい、まちにとけこみ・まちとふれあう介護事業所づくり。「全支部・職員・市民の全体会議」スタイルの幕開けです

最近12年ほどの市民の協同づくり

④2006年「千人会議」開始



「百人会議」の市民の協同会議は、病院づくりにも活かされます。「千人会議(新南生協病院建設推進会議)」は、4年間45回開催。「10の基本構想ゾーン」にこだわり、市民参加の総合病院という公共づくりを実現しました

最近12年ほどの市民の協同づくり

⑧2010年「南生協病院」新築移転オープン



2006年の「千人会議」から4年。「総合病院南生協病院」が2010年オープン。この間、加入者は1万6千人、増資は12億円、支部は28増、活動班は264班増など、数字の上でも市民の協同が広がっています

最近12年ほどの市民の協同づくり

⑪2012年「10万人会議」



そして、「南医療生協近未来事業構想会議(通称:10万人会議)」が毎月公開でスタート。さて、その目的は……



市民参加の事業所づくり。自分たちのことは自分たちの地域の協同で実現するという「百人会議」を受け、地域をみんなで「ちゃりんこ隊」を編成。空き家を見て回り……

最近12年ほどの市民の協同づくり

⑤2007年「小規模多機能ホームもうやいこ」



「グループホームなも」に続き、「小規模多機能ホームもうやいこ」開設。地元市民が、出資金も、ボランティアも、利用者さんも集めた、身の丈に合った事業所づくりです

最近12年ほどの市民の協同づくり

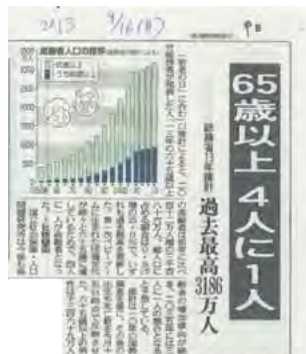
⑨2011年「6万人会議」



「6万人会議(南医療生協創立50周年企画実行委員会)」の期間中に、南医療生協の組合員活動の記録映画『だんらんにつぼん』が、地元でも全国でも上映されました

第3部

「10万人会議」の目的・こだわりをお話します



2013年、日本の65歳以上の人口が25%に。核家族化・ご近所づきあいの希薄化で、高齢者だけでなく、子育て世代も若者たちも、「まざりあう」ことなく、くらしています



まちづくりといえば、行政がやるものだ、多くの人は思ってきました。でも、もともとは、できることは地域のみんなで協同し、できないことは行政に求めてきたのです



どの地域、どの社会でも、くらしやすいまちづくりの課題は共通しています。幸いにして、南医療生協の支部のあるところでは、地域で協同の事業所づくりが可能です



「南生協よってって横丁」は8階建て。1階には在宅療養を支援する診療所をセンターに、介護の24時間365日をめざします



どの地域でも、要介護・要支援・認知症・障害・生活習慣病・健康不安。就職・結婚・子育て不安。孤独・独居・ストレスなど、現代の不安がただよっています



もちろん、社会保障は大切です。経済も財政も国民本位にしていきながら、自分たちでできることは、地域の協同の力で実現させ、市民自治で運営していきたいのです



こうしてはじまったのが、「10万人会議」で、2012年4月から、毎月定例公開ではじまりました。そこへ、JR南大高駅前の市有地を活かした施設づくりの公募があり、「10万人会議」のアイデアが、見事、選ばれたのです



「南生協よってって横丁」は、名古屋市のまちづくり計画を受け、市の土地を活用した、赤ちゃんから人生の匠まで、誰もが集え、利用できる、「医療・介護と、いやし・おいしい・文化・交流」の複合施設です



医療・介護事業も「地域のつきあい」から遠ざかり、ビジネス化していると言われています。こうした無縁社会の中で、国は「地域包括ケアシステム」をつくらうとしています



私たちのまちづくりは、自分たち自身が考え合い、語り合い、費用やアイデアを持ち寄り、ささえあい・たすけあえる、身の丈にあった、「お互いさまのまちづくり」です

第4部

「南生協よってって横丁」についてお話しします



ですから、「横丁」は、地元の組合員さんも、遠方の組合員さんも、支部の方も、これから支部になっていく地域の皆さんも、みんなが集い、利用し、南医療生協のまざり合いを実感し、仲間をふやしていく場、そのものなのです



かなめ病院の神田茂副院長は、「私たち南医療生協は、生協ゆうゆう村、生協のんびり村など、10年も前から地域包括ケアを先取りし、築き上げてきました。安否確認、たまり場へのお誘い…、この文化を発展させることが、地域を再生していく鍵になります」と語ります



南医療生協は、「くらしの協同組織」(＝支部・班など)をもとにできあがった、市民の自治で運営される事業活動を行う、地域密着型の協同組合です

最近12年ほどの市民の協同づくり

⑫2014年「南生協よってって横丁」づくり開始



施設の名前は「南生協よってって横丁」。推進する「よりあい1000回まちづくり懇談会」がはじまり、自治会・行政にもつながり、現在までに、開催数1400回を大きく超え、参加13000人・130団体以上と、つながりを広げています

南生協よってって横丁は

①ひとりぼっちから、「お互いさま」に変身するところ



南生協によって横丁は

②自分の趣味、相手の趣味を
活かし、たのしむところ



南生協によって横丁は

③JR・市バス・幹線道路など
利便性を活かすところ



南生協によって横丁は

④電子カルテで南生協病院
などと結ばれているところ



南生協によって横丁は

⑤障がいある人の雇用の場
につながる場所



南生協によって横丁は

⑥医療・介護・いやし・おい
し・文化・交流を楽しむところ



南生協によって横丁は

⑦地域のだれかの心配事を
いっしょに悩んでくれるところ



南生協によって横丁は

⑧フロア・テラス・自習室など
自分の居場所のあるところ



南生協によって横丁は

⑨「横丁」をまざりあいにする
ボランティアのいるところ



南生協によって横丁は

⑩みんなで「ささえあい・お互
いさま」をふやしていくところ



あなたのまちの
まちづくりをすすめる
第2・第3の「横丁」づくり



第2・第3の「横丁」づくりを、あなたのまちですすめませんか。あなたのまちに必要な介護事業所をつくりませんか。「知恵」「仲間」「出資金」など、みんなの「とっておき」を、南医療生協の支部・ブロックに持ち寄り、実現しませんか



「仲間ふやし」も「増出資」も、わたしたちの地域の、協同の財産づくりを実現する、大切な取り組みです



加入をすすめ、仲間を増やしましょう。事業所をつくり、利用し、運営して、その確かなサービスを活用しましょう。そして、「お互いさま」の営みが、地域の当たり前になるよう、取り組みをすすめましょう

あなたも、「お互いさまのまちづくり」を 南医療生協でいっしょにしませんか

南医療生協の組合員さんたちは、愛知県内の85地域で支部をつくり、「お互いさまのまちづくり」をすすめています。この市民の協同によって、「横丁」内事業所を含めた64事業所が運営され、組合員・市民のくらしをサポートしています。「お互いさまのまちづくり」は、人間らしい「くらしの豊かさ」づくりです。「地域だんらん推進8指標」は、そのための大切な指標です。ぜひ、ご協力下さい。

地域だんらん推進8指標

- ①「お互いさまのまちづくりのメンバーとなる仲間（組合員）」をふやす
- ②「南医療生協の財産（事業所など）づくりになる組合員出資金」をふやす
- ③「地域のまちづくりにつながる支部・班・班会」をふやす
- ④「地域のつながりを担う支部の運営委員・『健康の友』手配りの担い手」をふやす
- ⑤「健やかなくらしをサポートする人間ドック・健診、フィットネスクラブWish会員」をふやす
- ⑥「医師・看護師・介護福祉士など、南医療生協で働く仲間（職員）」をふやす
- ⑦「地域・ご近所のくらしのたまり場」をふやす
- ⑧「新しい地域をつくる子育て世代の交流ひろばと、子育て応援団」をふやす



南医療生協近未来構想会議 通称「10万人会議」のあらまし

1、「10万人会議」は、組合員・職員・市民の自発的な協同

2012年4月から毎月定例ではじまった「10万人会議」。正式名は「南医療生協近未来構想会議」。

南医療生協の強みは、介護事業所づくりの「百人会議」(2003年)、南生協病院新築移転の「千人会議」(2006年～2010年)、創立50周年の「6万人会議」(2011年)などの、連続した「市民の自発的協同の取り組み」があるということです(会議名はいずれも通称)。

この一連の「会議」は、支部や職場の「しきり」をなくし、一般組合員から役職員、市民参加を含めた、対等で自発的な討議を実現しました。

この、自由で、民主的で、時間をかけたくらしの協同の積み上げが、「10万人会議」の中から公共性の高い「南生協よってって横丁」を産み出す素地になっています。なお、「10万人会議」は任務を全うし、2014年6月で終了。7月からは「新・10万人会議(仮称)」がスタートの予定です。



2、「10万人会議」の経過①

- 第1回は2012年4月21日で参加者は118人。「地域のくらしの中から、南医療生協に求められているもの」はなにかを会議の導入部に。全体討議とグループ討議を組み合わせ、沢山の意見、アイデアを出し合う形式に。ここから出されたアイデアをもとに、「70の知恵」に整理
- 第1回会議に基づき、毎回のテーマを設定。当初は、老人保健施設づくりなどを念頭に、「急性期医療と高齢者入所施設のあり方、介護老人保健施設の役割」、「高齢者の施設と住宅」、「地域の中で老健をどう活用するか」などがテーマに
- 名古屋市への老健の申請が不採択になった11月以降、在宅医療・介護、看取り、高齢者住宅などがテーマに。第9回に開催した「まちづくり交流会」では、民生委員・老人会・消防団・自治会などで尽力される公職者のみなさんや、市民病院・自治体・福祉団体の方たちも迎え、154人がくらしの協同、地域の「お互いさまの協同」の必要性を共有
- 以後、「認知症についての学習と交流」(第10回)、「星崎地域での医療・介護・福祉構想と訪問看護ステーションの開設について」(第11回)、「みな1000でつくる南医療生協の未来」(第12回)と続く。ちなみに、「みな1000」は、「みんなで1000人職員紹介運動」の略で、南医療生協で働く仲間(職員)をふやす運動のこと



3、「10万人会議」の経過②

- 2013年3月、名古屋市から、「南大高駅前土地活用事業」のプラン策定につき、南医療生協もアイデアを出してほしいとの打診。さっそく、第13回(4/20)は、「病院周辺(南大高駅前)の賑わいづくり」について意見交換。名古屋市向けのプレゼンテーションや設計構想づくりがはじまる
- 第15回(6/15)に、長谷川敏彦氏(日本医科大学特任教授)が、「高齢化がすすむ社会とまちづくり」をテーマに講演。氏は、日本の「地域包括ケアシステム」政策に関わり、南医療生協の医療・介護・地域協同が、全国でも最も優れた「地域包括ケアシステム」であることを強調
- 7月、名古屋市が南大高駅前土地活用事業の公募を開始。その間、「10万人会議」では、施設名称を「南生協よってって横丁」に決定。施設づくりのテーマを「地域のつばやきを集めてつくる、まざり合いの明るいまちづくり」に決定。また、「よりあい1000回まちづくり懇談会(通称「より1000運動」)」、「駅前横丁にぎわい増資(後に「どっかーんと応援増資」に)」などを先行して運動開始。「より1000運動」は直後の7ヶ月間で地域779回・事業所360回、参加者は9893人に



8月27日、名古屋市から開発予定業者決定の通知。直後の第18回(9/21)以降、地域、事業所での「より1000運動」(「よりあい1000回まちづくり懇談会運動」)の促進を再確認し、「横丁」づくりの参加をひろげる「お手を拝借カード」(自分と「横丁」との関わりづくり)運動を決める。また、「横丁」の施設づくりの市民参加の一環として、「5つのゾーン」を設置。

①「健康・まちづくり歯科プロジェクトチーム」②「かかりやすいメンタルクリニックプロジェクトチーム」③「多世代にぎわいゾーンプロジェクトチーム」④「在宅いきいきゾーンプロジェクトチーム」⑤「環境、設備、防災プロジェクトチーム」

4、「10万人会議」の経過③

- 2014年2月15日、「ささえあい・たすけあいのまちづくり」などをテーマに、近藤克則氏(日本福祉大学健康社会研究センター長、社会福祉学部教授)が講演
- 2014年2月26日、「南生協よってって横丁」着工まつりが建設予定地で開かれ、寒風の中、2000人で鉄入れ式。以後、第27回(6/21)には、長谷川敏彦氏が「10万人会議」2度目の講演。第28回(7/19)は、「横丁」での障がい者の雇用を積極的に検討
- 第29回(8/16)は、団塊世代(超高齢社会の主演)の知恵と力の素晴らしさを確認。第30回(9/20)は、がん闘病の丸山茂雄さんの講演を通じて、その人らしい人生の送り方について考えを深める
- 第33回(12/20)の「第4回まちづくり交流会」には公職者など39人を含む193人が参加し、過去最高に。また、第34回(2015/1/17)は、「生協えきまえ歯科」・「メンタルクリニックみなみ」・入居する各店舗のプレゼンテーションが行われ、参加者140人
- 2月8日は、雨の中、「横丁」づくりを地域にお知らせする「よってって大作戦、にこここ訪問」に組合員・職員317人が参加、1899軒を訪問し、822軒と対話。加入29人を含む大きな成果
- 2014年9月10日にはじまった「南生協よってって横丁2万人のオープンまつり実行委員会」は、年明けになり、活動がさらにパワーアップ。スケジュールに合わせて、要員配置、掲示物づくり、パンフ・記念冊子づくりなど佳境に。2月25日時点の実行委員数は、組合員89人、職員61人。終盤になり、さらに実行委員は増えていく
- 内覧会・オープンまつり当日の4月1日(水)～5日(日)は、1000人の内覧ボランティアが2万人の内覧者に「横丁」の意義と全館説明を予定。各ブロックの取り組みなどの案内も。2月・3月には「内覧ボランティア講師養成講座」、「内覧ボランティア養成講座」が本部・各ブロックで開催



5、「10万人会議」の成果

- 2012年4月から2014年2月までに語られたキーワードだけでも、成年後見人制度、在宅死、認知症、在宅看護、救急医療情報キット、ささえあいシート、子育て支援、高齢者住宅、健康づくり、ホスピス、ボランティア、生きがいづくり、24時間医療・介護、健康長寿、介護難民、まちづくりなど、多彩な意見が集まり、協同組合運動の共通認識に
- 期間中の数の成果は、新たな組合員9,261人、増資5億5909万円（うち、6,052人の皆さんの積立増資が2億6617万円）。出資の持ち寄りのはべ75089人に。また、支部は5つ増え85支部に、支部運営委員は83人増え615人に
- 「10万人会議」や、南医療生協の事業所、「横丁」づくりの組合員活動を、全国の多くの大学研究者、自治体、介護福祉事業者、政府機関、医療福祉生協などが見学に
- 2013年11月27日「中日新聞」朝刊が、「南生協よってって横丁」建設を写真入りで紹介
- 2014年1月、「ザ・ビッグイシュー」231号特集記事に、「地域住民がつくる画期的な病院」として、南医療生協を紹介。この雑誌は、1991年にロンドンで生まれ、日本では2003年9月に創刊。ホームレスの人に仕事を提供し自立を応援する目的に事業化され発行されている
- 「ガイアの夜明け」（テレビ東京）が取材するなど、全国的な注目も（2015年4月21日放送予定）

南医療生協を取材した理由を「ガイアの夜明け」 ディレクターにお聞きしました（大要）

Q1. なぜ、南医療生協を採り上げたのですか

A1. 現代社会では、金をもらって活動に参加するのが常識。なのに、出資金を出すだけでなく、手弁当でいろんな活動に参加する。介護事業所も総合病院も自分たちでつくった。こんどは、地域包括ケアを自分たちでつくろうとし、実際に完成までこぎつけている。そんな組織が名古屋市緑区にあると聞いて、さっそく、企画書をつくり、取材になった。

Q2. 取材してみてどうでしたか

A2. 南医療生協の組合員さんの活動を見て、聞いていた以上のことを実践していることがわかった。しかも、多くの人々が楽しそうにやっている。これは放映すべきだと判断した。



2013年11月27日付 中日新聞

南医療生協には、現在67事業所があります。すべて市民の協同で誕生し、運営やボランティアなどにも参加しています

「お互いさまの協同」が可能にする 暮らしの事業所づくり

2003年度の「百人会議」以降、南医療生協では、「千人会議」、「6万人会議（南医療生協50周年事業）」、「10万人会議」と、全体の合意づくりの会議を定例・公開でおこない、組合員の意見をまとめあげ、実現してきました。



2003年

「百人会議（介護事業推進会議）」

1年間開催。協同組合らしい介護事業所づくり交流。南医療生協の「協同組合らしい介護・福祉事業」の基礎をつくる



2006年

「千人会議（新南生協病院建設運動推進会議）」

4年間45回開催。「10のゾーン」にこだわり、市民参加の総合病院を実現。参加者からは、「これが本当の市民病院だ」との声も



2012年

「10万人会議（近未来構想会議）」

地域の市民協同と、医療・介護などの事業活動でできている南医療生協の近未来づくり。3年39回（～2015年6月）をかけ、市民が担い、頼り、まざりあう施設づくりへ

「支部」と「活動班」と「機関紙配布率」の推移

2004年

支部◆38支部
活動班◆324班
機関紙配布率◆66%

2006年

支部◆60支部
活動班◆429班
機関紙配布率◆67%

2008年

支部◆71支部
活動班◆623班
機関紙配布率◆69%

2010年

支部◆73支部
活動班◆881班
機関紙配布率◆71%

2012年

支部◆80支部
活動班◆976班
機関紙配布率◆80%

2014年

支部◆85支部
活動班◆1076班
機関紙配布率◆84%



2002年 「生協ひまわり歯科」開設

開設に向け、地域組合員が職員と連日地域訪問。開設までに診療予約患者を確保。初年度から黒字。南医療生協の「組合員の財産は赤字を出さない」の原点



2004年 「グループホームなも」開設

組合員たちが自転車で地域を回り、見つけた空き家を改修して「まちにとけこむ」介護施設に。前後して、各地にヘルパーステーションが開設



2005年 「生協ゆうゆう村」開設

敷地600坪以上。デイサービス・ショートステイ・多世代共生住宅・地域交流施設など。その後、「いりやあせ」・「わいわい長屋」など開設



2007年 「小規模多機能ホームもうやいこ」開設

「なも」に続き、自転車で回り見つけた空き家を介護施設に大変身。「なも」同様、人材も利用者も備品も、仲間ふやしもお金も、すべて持ち寄って開設



2008年 「老健あんき（29床・全室個室）」開設

老朽化した星崎診療所の新築移転とセットで併設。「なも」「もうやいこ」づくりの協同の力を活かして実現



2008年 「生協のんびり村」開設

敷地800坪以上。地元組合員からの土地の提供を受け、グループホームから小規模多機能ホーム・多世代共生住宅、喫茶・畑まで、手づくりの多角運営



2010年「総合病院南生協病院」

オープンまでの4年間で、仲間ふやし1万6千人、増資12億円、支部28増、活動班264班増。南医療生協の他の事業所同様、多くのボランティアさんが活躍中

市民の協同でできることは、協同組合でつくり、運営する

「南生協よってって横丁」

全国にさがかけて実現する「地域包括ケアシステム」へ

市民のまちづくりが協同組合の原動力

ささえあい活動

ひろがる「暮らしの協同組織」づくり

仲間ふやし・アイデア・出資金・「地域に必要な第2・第3の横丁をつくりたい」の想いをもち寄り、市民の協同でつくりあげる

南医療生協ブロック・支部でつくる介護福祉事業の展開